

ロシア語を学んで、ロシアを知ろう 初級

Web 文法

УРОК 1

1-1

ロシア語の名詞には（文法上の）性というものがあります。自然界に性があるものは、文法上の性は自然界の性に一致します。したがって、男子学生 **студент** は男性名詞ですし、女子学生 **студентка** やママ **мама** は女性名詞です。文法上の性は名詞の形で決まります。男性名詞は子音で終わり、女性名詞は語尾 **a** で終わります（男性名詞は語尾がないと言った方が正確ですが）。ほかにも語尾がありますが、それはあとで勉強しましょう。

1-2

ロシア人の名前は、名、父称、姓という三つの成分から成り立っています。名は愛称として形態がいろいろ変化することが多いです。名と父称だけで呼びかけると、ていねいな呼びかけになります。**Петр Ильич!**（チャイコフスキーさん！）

1-3

ロシア語では、現在時制では **b e** 動詞にあたるものは必要ありません。したがって、「AはBです」という文章は、単に **AB** となります。また疑問文の作り方は、基本的に語尾に疑問符をつけるだけです。

УРОК 2

2-1

名詞の性は、実はあと中性というものがあります。語尾は **o** になります。無生物がすべて中性名詞になるわけではなく、1-1で説明した語尾に応じて、性が決まります。たとえば、カフカス風焼肉 **шашлык** は男性名詞、ウオッカ **водка** は女性名詞です。名詞の語尾を表にすると次のようになります。余力のある人は全部おぼえましょう。

-	-а	-о
-ъ	-я	-е (-ё)
-й	-ь	-мя

2-2

ロシア語の動詞は人称と単数・複数に応じて形態が変化します。規則的な変化は二通りあって、二つ目はまたあとで勉強しましょう。不定形（～すること）の語尾 **ТЬ** をとって、表の活用語尾をつけるとできあがります。二人称複数 **ВЫ** は「あなたがた、きみたち」ですが、単数の相手に使うこともでき、その場合は、敬意をもった呼びかけ「あなた」になります。

2-3

代名詞の対格（目的語の形）です。

2-4

名前をいう言い方です。2-3 で覚えた対格が使われています。「(人々は) 私を・・・と呼びます」という形になっています。

2-5

ОВАТЬ 動詞と呼ばれる動詞の変化です。**-ова-**の部分を**-у-**に変えて、第一式の動詞変化の語尾を加えます。この動詞は、外来語をロシア語化するときによく使われます。日本語の「・・・する」のような感じですね。

УРОК 3

3-1

動詞の二つ目の規則変化です。語幹（活用しても変わらない部分）は、不定形の語尾 **ТЬ** を取った上で、さらにもう一つ母音を取ります。そこに表にある語尾をつけてください。この変化（第二変化とか **И** 変化とか言われます）では、アクセントが移動することがあります。その場合、移動は第一人称単数から第二人称単数にかけて移動し、そのあとは動きません。例にあげた **СМОТРЕТЬ** という動詞が、そういうパターンになっています。

3-2

形容詞の語尾です。修飾する名詞の性・数・格によって変化します。（ここでは単数・主格の形だけを覚えましょう。）

3-3

形容詞の語尾には硬変化と軟変化という2種類があります。語尾の最初の母音が、硬変化では硬(母)音、軟変化では軟(母)音になります。したがって、硬変化は**-ый -ая -ое -ые**、軟変化では**-ий -ья -ее -ие** となります。この二つの語尾が混ざったようなものもありますが、これは正書法の規則というものにしたがっているだけです。（正書法 **Г Ж К Х Ч Ш Щ**

の後ろでは **ы** の代わりに **и** を、**я** の代わりに **а** を、**ю** の代わりに **у** を書かなくてはならないというものです。)

3-4

副詞の語尾は **-о** となります。

УРОК 4

4-1

「だれだれは何々を持っている」という所有の表現は、ロシア語では日本語と少し似ていて、「だれだれには何々がある (いる)」という言い方をします。「だれだれのところには」という前置詞は **у** で、そのあとに生格という形をとります。(代名詞の生格の形と、名詞の変化が表にしておりますので、覚えましょう。)
「ある」というのは **есть** 動詞で、文法 1-3 で説明したように、現在時制ではいらぬはずなのですが、存在を表すときだけは、**есть** という形で使います。この形は性・数・格による変化がなく、いつもこの形です。

4-2

前節で見たように、「持っている」という述語は **есть** です。では「持っていない」という述語はどうなるかということ、**не есть** となりそうなものなのですが、形は **нет** となります。これは「はい」、「いいえ」の「いいえ」の方の **нет** ではなく、述語ですので区別しましょう。
ところが、さらにややこしいのですが、「～がない」という文章を言いたいとき、ロシア語では「～」の部分が生格で表現されます。否定生格と呼ばれる現象です。そこで、「ぼくには兄弟がいない」と言いたければ、兄弟 **брат** が **брата** となって表現され、結局、**У меня нет брата.** という文章になります。

4-3

ся 動詞と呼ばれるものです。**ся** は **себя** (自分自身、英語の **oneself**) と思ってもらっていいです。つまり、これは英語の再帰動詞ですね。その働きは何かというと、「自分自身に何かをさせる」、つまり、「自分が何かをする」という意味になります。**ся** を付け加えることによって他動詞を自動詞に変えるわけです。**учить** は「教える」ですが、**учиться** は「学ぶ」になります。それは、ある意味で、受身に変えるということでもあります。「自分に教える」は「自分で学ぶ」であり、「自分は教わる (教えられる)」ということなのです。

4-4

造格の形態です。造格の働きは、まず第一に道具・手段を示すことです。「・・・を使って」という意味です。また、特定の動詞や前置詞のあとでも用いられます。たとえば、**с (・・・**

とともに) という前置詞は造格を取ります。また、b e 動詞あるいはそれに準ずる動詞の補語として用いられます。「AはBである」という文章のBが造格になるのです。ただし、ロシア語は現在時制ではb e 動詞は必要ありませんでしたから、この場合はAもBも主格のままです。(Она – моя девушка.)

УРОК 5

5-1

「なにかが好き」といいたいとき、любить という動詞を使います。Любить は英語の love にあたる言葉ですが、英語とちがって、love と like の区別がありません。したがって、「異性を愛する」というときも、「アイスクリームが好きだ」というときも、この любить を使います。同じ意味を нравиться という動詞で表現することもできます。この動詞は日本語の「気に入る」に似ていて、好きなものが主語になり、与格(「だれだれに」という形)で、それが好きな人が表されます。

5-2

代名詞の与格の形です。

5-3

目的語、つまり、「～を」というときの言葉は、対格という形で表現されます。男性名詞はちょっとややこしいのですが、生き物(活動体といいます)は語尾なしなのを-a に変えます(5-4で見ます)。無生物(不活動体といいます)の場合はそのまま、無変化です。女性名詞は語尾-a を-y に変えます。中性名詞は無変化で、語尾-o はそのままです。

5-4

男性名詞の対格には、活動体と不活動体の二つで形態が異なります。活動体は生き物、不活動体は無生物を意味します。不活動体の対格は、5-3で覚えたとおりなのですが、活動体は生格と形が同じ、つまり、語尾が-a になります。

5-5

複数の作り方です。

УРОК 6

6-1

b e 動詞の変化です。意味の上からは未来形になります。つまり、will be にあたります。

6-2

6-1の、be動詞の活用形に不定詞を付け加えると未来形になります。ただし、これは未来の進行形、つまり、will be -ingにあたります。

6-3

運動を表す動詞のあるものは、二つの形をとります。たとえば、「歩く」は **идти** と **ходить** です。前者は目標がきまっていてそこにまっすぐ進んでいる状態、後者は向きが定まらない運動を表します。向きが定まらない運動とは、ふらふらしたり、ぐるぐる回ったり、あっちに行ったりこっちに行ったり、あるいは、行って帰るような運動のことです。とくに行って帰るのは、「通う」（通学する、通勤する）という意味でよく使うので注意しましょう。同じような区別が、ここにあげたような動詞にいえます。まっすぐ進む方を「定（向）動詞」、向きが定まらないのを「不定（向）動詞」と称します。

6-4

6-3で出た定動詞 **идти** の変化です。

6-5

на+前置格（-eで終わる形。7-1を参照）で、「・・・に乗って」という言い方ができます。

УРОК 7

7-1

場所をあらわす前置詞 **в** と **на** のあとには、前置格がきます。前置格は基本的に、名詞の性に関係なく、-e という語尾になります。前置詞のあとに対格がくることがあります。前置詞 **на** が、「～の上に」という意味ではなく、特定の名詞と結びついて、ただ場所を示すことがあります。たとえば **на вокзале** というのは、「駅の建物の上で」という意味ではなく、ただ「駅で」という意味です。このような名詞には **вокзал** のほかに、工場 **завод**、郵便局 **почта**、通り **улица**、コンサート **концерт**、島 **остров** などがあります。

7-2

名詞の複数生格の形です。女性・中性名詞の複数生格で語尾がなくなる場合、母音が入挿入される場合があります。

7-3

можно, нужно, нельзяなどの述語は、うしろに不定形をとって、「・・・できる」、「・・・しなければならない」、「・・・してはならない」というような意味になります。これらの文章には主語がなく、無人称文と呼ばれます。英語の、to不定詞の構文、It is necessary to ...に通じるような言い方です。

7-4

「何語で」という言い方は二通りあって、поのあとに- (ハイフン) をつけて、続けて、形容詞の男性にかかる形の語尾からйをとったものを唱えるか、на+前置格で表現できます。

7-5

与格 (・・・に[あげる、など]) の作り方です。

УРОК 8

8-1

過去形の作り方です。動詞の不定形の語尾 (など) を取って、そこに男性名詞ならл、女性ならла、中性ならло、複数ならлиという語尾を加えます。これらの語尾は、名詞の性を覚えたときの語尾に対応しているので、覚えやすいですね。

8-2

3-2で勉強した形容詞の語尾のほかに、ロシア語にはもう種類の語尾があります。3-2で学んだものが長語尾形と呼ばれ、もうひとつは短語尾形です。短語尾形は述語にしかわれません。(長語尾は修飾語、述語の両方に使えます。) さらに、短語尾形は、一時的な状態を表すのに使います。

8-3

一人称の命令・勧誘 (「・・・しましょう」という言い方) は、完了体 (10-1参照) の一人称複数か、不完了体の動詞の不定形を、давайтеという表現のあとにつけてできます。

УРОК 9

9-1

比較級の作り方です。Болееという語を形容詞につけるか、語尾を-ееに変えるかで作れま

す。英語の **more** を使った形か、語尾を**-er** とする作り方に対応しています。不規則な形態もあります。по を語頭につけると、「少しだけ」、「ちょっと」という意味になります。比較の対象は **чем** であらわします。英語の **than** に相当します。ほかに、比較の対象となっている語を生格にするやり方もあります。

9-2

形容詞 **должен** という語は、不定形をとって「・・・しなくてはならない」という意味になります。この形容詞は短語尾形です。

9-3

ロシア語の数詞の使い方です。1 のあとには単数生格、2 から 4 のあとでは単数生格、5 以上の数のあとでは複数生格になります。1 から 10 まで、基数と序数（順番の数。何番目のという意味）を覚えましょう。

9-4

時刻の言い方です。何時何分という場合、何番目の時間の何分という言い方になります。何番目の時間ですが、何時というのとひとつづれますから注意しましょう。12 時台は 1 番目の時間、1 時台は 2 番目の時間です。1 時 10 分は、2 番目の時間の 10 分となります。30 分は「半分 **половина**」を使っても表現できます。何時何分前は、「何分前」のところを、「何分なし (**без**)」という形で表現します。前置詞 **без** は生格を取ります。

УРОК 10

10-1

ロシア語の動詞には、完了体と不完了体という二つの体があります。完了体は、多くの場合、不完了体の前に何らかの接頭辞をつけるとできます。語幹の母音が異なるタイプもあります。

10-2

完了体は動作が終了したことを、不完了体は終了していないこと（する途中だったり、繰り返し繰り返しすることだったり）をあらわします。完了体が、具体的な行為が終わったことを示すのに対して、不完了体は抽象的・一般的な行為を表すともいえます（「彼は『海辺のカフカ』を読み終わった」というときは完了から、「私は[一般に]本を読むことが好きだ」という場合は不完了体）。

10-3

命令形の作り方です。現在変化の語幹が母音で終わる場合は語幹に-й を、子音で終わる場合は、単数一人称の変化で語尾にアクセントがある場合は-и を、ない場合は-ь をつけます。丁寧な命令（つまり複数形の命令）は-те をつけます。でも、こんな規則を覚えるより、口調で覚えたほうが楽ですよ。

УРОК 11

11-1

動詞が三人称複数の形で、主語が明示されていない文章を不定人称文といいます。動詞で指し示されている行為に主な関心があるときに使います。英語で意味のない they が主語になるような文章に相当します。(They speak in English in the United States. 「米国では英語が話されている」[だれが話しているかはどうでもいい])

11-2

someone, something, somewhere, somehow, sometime などなどにあたる形は、疑問詞に-нибудь か-то をつけるとできます。-нибудь は、行為があったかなかったか定かでないときに、-то は、行為はあるけれども、主体がはっきりしないときに使います。(Кто-нибудь пришёл без меня? 「留守中に誰か来た?」 Кто-то стучит в дверь. 「誰かドアをノックしているよ。」)

11-3

関係代名詞 который です。従属節における性・数・格に応じて変化します。такой. Какой は such as、тот, кто は he who、то, что は what (that which)にあたる言い方です。

УРОК 12

12-1

最上級の作り方です。を形容詞の前につけて唱えます。語形が変化する場合もあります。

12-2

仮定法の言い方です。Если бы ... (過去形) , ... бы ... (過去形) .という形になります。если が ifにあたる語です。бы は仮定法を作る小辞で、過去形を取ります。ロシア語には英語のように、仮定法未来、現在、過去、過去完了というような区別はありません。in order that ... may ... にあたる、чтобы+過去形という表現もできます。英語のように、これは不定形でも表現できます。in order to は чтобы+不定形です。